

# 「温室効果ガス排出抑制計画制度」に基づく 令和7年度実施状況の公表

## 【特定事業者】130事業者（事業者単位：合計の原油換算エネルギー使用量が1,500kl/年以上）

- ・ 基準年度に対する総排出量は、一部増加している企業が見られるものの、減少している企業も多く、全事業者の総排出量の合計値については減少した。
- ・ 排出量が減少した主な理由としては、省エネ性能の高い設備の導入や運用改善等を積極的に進めている事業者による排出量が削減されたことなどが考えられる。
- ・ 原単位排出量は、積極的な設備投資等を通じた排出抑制対策の推進により減少している事業者が見られる一方、世界情勢の影響によるエネルギー価格の高騰や世界的な半導体不足の影響によって増加した事業者も一部見られた。

排出量の単位：t-CO<sub>2</sub>

計画期間 (年度)	基準 年度	目標 年度	事業者数	基準年度 総排出量	2024年度 (R6年度) 総排出量	対基準年度 総排出量 増減率	対基準年度 原単位排出量 増減率
2022～2024 (R4～R6)	2021 (R3)	2024 (R6)	9社	46,909	45,425	△3.2%	+4.5%
2023～2025 (R5～R7)	2022 (R4)	2025 (R7)	114社	1,130,127	1,120,692	△0.9%	△3.2%
2024～2026 (R6～R8)	2023 (R5)	2026 (R8)	8社	63,560	56,733	△10.8%	△5.2%
合計			131社	1,240,596	1,222,850	△1.5%	

※原単位排出量：各事業者の温室効果ガス総排出量を、生産数量や延床面積等のエネルギー使用量と密接な関係を持つ値で除した値（例：製品1個単位や面積1m<sup>2</sup>単位の温室効果ガス排出量）

## 【トライアル事業者】35事業者（特定事業者以外で本制度に取り組む事業者）

- ・ 基準年度に対する総排出量は、一部で増加している企業も見られるものの、減少している企業の割合が多く、全体としては微減となった。
- ・ 主な理由として、省エネ性能の高い設備の導入や運用改善、従業員教育の取組の影響が考えられる。

排出量の単位：t-CO<sub>2</sub>

計画期間 (年度)	基準 年度	目標 年度	事業者数	基準年度 総排出量	R5年度 総排出量	対基準年度総 排出量増減率
2022～2024 (R4～R6)	2021 (R3)	2024 (R6)	4社	155	149	△3.9%
2023～2025 (R5～R7)	2022 (R4)	2025 (R7)	14社	8,802	8,456	△4.0%
2024～2026 (R6～R8)	2023 (R5)	2026 (R8)	17社	3,914	3,996	△2.1%
合計			35社	12,871	12,601	△2.1%

※トライアル事業者には原単位排出量の報告を求めていないため非公表。